



## 厳しい夏

校長 門脇 伸也

暑さも厳しさを増してまいりました。本日をもって、1学期間の学校生活が無事終了いたしましたこと、保護者及び関係機関の皆様にご感謝申し上げます。明日より、各ご家庭を中心とした生活となります。昨年度の夏は、デルタ株の拡大により東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が、緊急事態宣言下における無観客開催となりました。今年度の現時点では、「BA5株」という感染力のとても強い変異株による感染拡大が始まっています。新宿区内の公立学校では日を迫うごとに学級、学年閉鎖が発生しています。先日、区内の医師から「PCR検査の検査数は上限があるだけに報道発表される感染者数を気にしても現状の正しい判断はできない」と聞きました。都内の中学校では、バスケットボールの夏の都大会が始まっていますが、会場となったある学校でクラスターが発生しています。飲食を伴う機会の感染リスクも話題になっています。現在、まん延防止法のような行動制限は出ていません。私たちは、昨年より感染予防に対する高い意識が求められています。

教職員は、2学期が始まるにあたり改めて抗体検査を受けます。また、4回目のワクチン接種も始まります。8月下旬に感染症拡大が下火になっているとの予想も現時点ではありません。2学期も保護者の皆様にはご不便をお掛けいたしますが、「学校に感染症を持ち込まない」ために感染予防対策へのご理解とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

さて、7月からは、学校給食（初期食）のシリンジ注入が本区のガイドラインに沿って始まっています。そして、医療的ケア児専用通学車両の運行も4年目を迎え、2台目が増車されて運行しています。医療的ケアの無い子どもたちと同じように通学できる機会が増えました。また、登校便は区の委託による民間事業所の看護師による同乗が可能になりました。しかしながら、学校看護師の下校便への同乗は、まだ試乗の段階から進んではおりません。学校看護師の乗車を望んでいる保護者の思いを実現するためには、学校看護師の現状を正確に理解していただき、学校看護師が医療的ケア専用通学車両へ同乗できる具体的な整備をしていただかないとなりません。例えば、常勤看護師における勤務時間内の休憩時間確保や会計年度看護師における休憩時間と勤務時間について、試乗の結果を基にした学校看護師の勤務状況の整備を関係機関と協議を継続してまいります。

結びに、今年の夏も猛暑となります。保護者、地域の皆様、関係機関の皆様におかれましてはお身体を大切にしてください。これからも皆様と一緒に多々困難な状況を乗り越えていきたいと存じます。



## 半日校外学習



小学部

今年度は、新宿養護学校からスクールバスで15分程の新宿区四谷にある東京消防庁・消防博物館へ行きました。お土産を購入後、本物の消防車や消防ヘリコプターを見学したり、タブレットや大画面を活用した新しい展示や具体物を操作するシルエットクイズなどの館内施設を体験したりしました。

天候にも恵まれ、初めての半日校外学習を安全に楽しく行うことができました。



## つくし・ぼらグループ

## 半日校外学習



小学部

今年度の半日校外学習では、1年生から4年生は近隣のスーパーへ、5年生と6年生は新宿駅にある100円ショップに行ってきました。

今回の目的は、「調理実習に向けて、全員で調理に必要な道具や食材を購入すること」、「5・6年生は、残りの金額の範囲内で好きな物を選んで購入すること」でした。

児童の中には、授業で初めて買い物に行く児童もいましたが、事前学習で確認した必要な道具や食材などを無事に購入することができました。



## 中学部3年生 修学旅行



中学部

中学部3年生は、2日間に渡る日帰りの修学旅行を行いました。1日目は横浜・みなとみらい方面へ行きました。シーバスに乗船したり、ホテルのランチbuffetを楽しんだり、69階の展望台に登ったりしました。2日目は練馬区の「白石農園」で夏野菜の収穫体験を行い、昼食は、農園に併設しているレストランで、新鮮な野菜を使用したイタリアンを食べました。午後は「中里郷土の森」で、植物や虫を観察する自然体験活動を行いました。

2日間の様々な体験活動の中で、生徒たちの生き生きとした表情をたくさん見る事ができました。中学部での思い出の一つとして、心に残るものになったのではないかと思います。



## 放課後等デイサービス事業所

## 移動支援事業所等 との連絡会

支援部

7月1日(金)に、8事業所18名の方に参加いただき、「放課後等デイサービス事業所・移動支援事業所等との連絡会」を行いました。

各事業所からは、事業活動エリアや事業内容を説明いただき、それぞれの事業内容について改めて知る機会になりました。

本校からは、医療的ケア児童・生徒の登下校について生活指導主幹よりお伝えしました。医療的ケア児童・生徒の登下校には、移動支援事業所の方々に多く携わっていただいているため、大切な情報共有の場となりました。

学校見学では、児童・生徒の授業中の様子や廊下に展示してある作品を見学していただきました。

今後も情報交換などを進め、各事業所様との繋がりを大切にしていきたいと思います。



## 研究部より

研究部

本校は、今年度より2年間、新宿区教育課題研究指定校として「特別支援学校におけるICTを活用した言語能力の育成」をテーマに教育活動充実のために研究を進めていくことになりました。その取組の一例として視線入力装置を授業で本格的に活用することを目指し、講師を招聘し指導を受けながら、改善を重ねているところです。本校には視線入力装置が2台あり、児童・生徒の実態や指導場面にあわせ、設定や使用環境を工夫しながら行っています。7月26日(火)には、視線入力の第一人者であられる島根大学助教授の伊藤史人先生にご来校いただいて全校研修会を実施する予定です。



←視線入力を使用した授業の様子

視線入力装置 →

